



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月28日

上場会社名 中央発條株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5992 URL <https://www.chkk.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小出 健太
 問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員 (氏名) 矢澤 文希 (TEL) 052-624-8539
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	20,318	0.1	△391	—	834	34.3	265	△8.5
2022年3月期第1四半期	20,300	58.9	338	—	621	—	290	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 205百万円(△88.4%) 2022年3月期第1四半期 1,777百万円(626.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	10.67	—
2022年3月期第1四半期	11.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	106,851	71,155	62.4
2022年3月期	104,553	71,425	64.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 66,707百万円 2022年3月期 67,103百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	42,700	11.5	200	△2.3	1,100	77.0	550	183.7	22.07
通期	89,000	8.3	2,300	25.9	2,700	△21.4	1,600	△11.2	64.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名)－ 、除外 一社 (社名)－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	25,542,396株	2022年3月期	25,542,396株
2023年3月期1Q	623,394株	2022年3月期	623,298株
2023年3月期1Q	24,919,032株	2022年3月期1Q	24,919,910株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
参考資料	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、新型コロナウイルスの影響により、主要なお客様の生産調整、工場の操業停止等が相次ぎ、また、中国国内でのロックダウンによる海外生産台数の減産が重なり、自動車の生産台数が前年同四半期に比べ減少いたしました。

このような状況のなか、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高が前年同四半期に比べ1千7百万円増収（前年同四半期比0.1%増）の203億1千8百万円となりました。この売上高のうち約21億円は鋼材高騰の売価反映と為替変動の影響等であり、実質的には主要なお客様の自動車生産台数の減少により約21億円の減収となりました。

損益の状況につきましては、営業損失が3億9千1百万円（前年同四半期は3億3千8百万円の営業利益）となりました。主要なお客様の自動車生産台数の減少、及び鋼材・物流費の高騰、資材・動力光熱費の価格上昇等のインフレ圧力による減益要因が、過去最高レベルの合理化改善、鋼材等の売価反映による増益要因を上回り営業損失となりました。

一方、経常利益は2億1千3百万円増益（前年同四半期比34.3%増）の8億3千4百万円となりました。当社はこれまで安定した収益確保、有利子負債の圧縮を基盤とした財務体質強化の施策を計画的に推進し、基本的に自己資金によるグローバル資金体制を構築してまいりました。その結果、当第1四半期末の為替レートが、前年度末に対し大きく円安方向に振れたことにより、自己資金分の評価換算差益が大きく営業外のプラス収益方向（約9億円）に寄与し、この増益要因が営業損失を上回り、今回の経常利益の増益につながりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億6千5百万円（前年同四半期比8.5%減）となりました。

今後の見通しにつきましては、主要なお客様の連結生産台数が未だ不透明な部分はあるものの、年度後半以降徐々に挽回していく前提に立ち、また為替動向の先行きも不透明であるため、売上高並びに各利益の通期の連結業績予想は現時点では変更いたしません。一方、第2四半期（累計）予想につきましては、本日公表通り、当第1四半期の結果及び現在把握しうる第2四半期の主要なお客様の生産台数動向等を踏まえ、営業利益は減益修正、逆に経常利益は直近の為替レベルを反映し増益に修正いたします。第3四半期以降は、生産台数の挽回に加え、全員参加により過去最高レベルの直材・購入部品から、労務費を筆頭に全加工費、及びあらゆる固定費の改善による合理化改善をさらに押し上げ、また、主要なお客様との鋼材・物流費、資材・動力光熱費等のインフレ影響全般の売価反映の最終結論が年度後半に集中的に決定される状況を勘案し、後半追い上げの利益獲得を目指し通期目標の達成を目指します。

今後も引き続き「中発Global Vision2025」達成に向け、主要なお客様の電動化戦略に対応したEV・FCV対応製品のラインナップ拡充、製品の高付加価値化、及びカーボンニュートラル環境への貢献、社会ニーズ対応を目指すSDGs化の推進を積極的に実施し、成長と効率向上の両輪の発展をはかり、中長期経営計画の達成に向け努力してまいります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、売上高はセグメント間の売上高を含んでおります。

〔日本〕

売上高147億1千2百万円（前年同四半期比4.1%減）、営業損失1千3百万円（前年同四半期は7億2千2百万円の営業利益）となりました。

〔北米〕

売上高19億3千万円（前年同四半期比8.0%増）、営業損失2億2千5百万円（前年同四半期は2億9百万円の営業損失）となりました。

〔中国〕

売上高26億9千7百万円（前年同四半期比10.5%増）、営業利益1億5千6百万円（同43.7%減）となりました。

〔アジア〕

売上高36億2千3百万円（前年同四半期比17.6%増）、営業利益9千5百万円（前年同四半期は8千6百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は421億2千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億4千1百万円増加(6.4%増)いたしました。これは主に現金及び預金の増加(27億5千9百万円)によるものであります。

固定資産は647億2千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億4千2百万円減少(0.4%減)いたしました。これは主に機械装置及び運搬具の増加(8億6千8百万円)及び投資有価証券の減少(12億3千6百万円)によるものであります。

この結果、総資産は1,068億5千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億9千8百万円増加(2.2%増)いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は182億8千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ8千6百万円減少(0.5%減)いたしました。これは主に未払費用の増加(17億1千6百万円)、支払手形及び買掛金の減少(9億9千2百万円)及び賞与引当金の減少(7億9千5百万円)によるものであります。固定負債は174億1千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億5千4百万円増加(18.0%増)いたしました。これは主に長期借入金の増加(29億6千2百万円)によるものであります。

この結果、負債合計は、356億9千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億6千8百万円増加(7.8%増)いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は711億5千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億6千9百万円減少(0.4%減)いたしました。これは主に為替換算調整勘定の増加(6億1千5百万円)及びその他有価証券評価差額金の減少(8億8千4百万円)によるものであります。

この結果、自己資本比率は62.4%(前連結会計年度末は64.2%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年4月27日に公表いたしました第2四半期(累計)の予想数値を修正しております。通期の予想数値につきましては修正しておりません。詳細につきましては、本日公表の「2023年3月期 第2四半期累計期間連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,869,907	10,629,405
受取手形及び売掛金	14,048,426	13,241,014
電子記録債権	2,350,117	2,173,119
商品及び製品	4,425,299	4,758,803
仕掛品	1,526,502	1,349,810
原材料及び貯蔵品	7,476,249	8,321,481
未収入金	574,358	450,947
その他	1,348,580	1,242,133
貸倒引当金	△37,629	△43,405
流動資産合計	39,581,812	42,123,308
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	30,341,695	30,723,128
減価償却累計額	△24,445,576	△24,819,450
建物及び構築物（純額）	5,896,119	5,903,677
機械装置及び運搬具	64,866,169	67,026,980
減価償却累計額	△54,341,054	△55,633,079
機械装置及び運搬具（純額）	10,525,115	11,393,901
土地	9,435,162	9,508,362
建設仮勘定	3,065,322	2,913,902
その他	11,505,130	11,763,233
減価償却累計額	△10,314,310	△10,567,221
その他（純額）	1,190,820	1,196,011
有形固定資産合計	30,112,539	30,915,855
無形固定資産		
ソフトウェア	158,869	181,456
その他	50,586	15,537
無形固定資産合計	209,455	196,993
投資その他の資産		
投資有価証券	24,759,005	23,522,113
長期前払費用	578,791	567,003
繰延税金資産	224,286	250,659
退職給付に係る資産	8,854,947	9,034,096
その他	287,891	297,631
貸倒引当金	△55,515	△55,887
投資その他の資産合計	34,649,407	33,615,616
固定資産合計	64,971,401	64,728,466
資産合計	104,553,214	106,851,775

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,938,722	8,946,473
電子記録債務	1,509,676	1,530,605
短期借入金	1,948,950	1,547,400
1年内返済予定の長期借入金	114,621	122,952
リース債務	106,487	103,825
未払金	756,799	996,988
未払費用	1,505,482	3,222,269
未払法人税等	448,211	382,249
賞与引当金	1,531,898	736,657
役員賞与引当金	74,014	15,341
製品保証引当金	21,099	20,597
その他	414,696	659,212
流動負債合計	18,370,661	18,284,573
固定負債		
長期借入金	4,636,799	7,599,396
リース債務	169,506	154,464
繰延税金負債	8,313,343	8,068,630
役員退職慰労引当金	176,313	82,983
退職給付に係る負債	1,232,954	1,274,835
資産除去債務	133,361	133,766
その他	95,165	97,803
固定負債合計	14,757,444	17,411,880
負債合計	33,128,106	35,696,453
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,837,208	10,837,208
資本剰余金	11,056,764	11,056,764
利益剰余金	27,482,888	27,350,171
自己株式	△672,425	△672,490
株主資本合計	48,704,436	48,571,654
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,067,575	14,183,053
為替換算調整勘定	680,825	1,295,966
退職給付に係る調整累計額	2,650,253	2,657,024
その他の包括利益累計額合計	18,398,654	18,136,043
非支配株主持分	4,322,016	4,447,622
純資産合計	71,425,107	71,155,321
負債純資産合計	104,553,214	106,851,775

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	20,300,339	20,318,198
売上原価	17,851,700	18,565,630
売上総利益	2,448,639	1,752,568
販売費及び一般管理費	2,110,528	2,143,757
営業利益又は営業損失(△)	338,110	△391,188
営業外収益		
受取利息	4,994	3,274
受取配当金	334,477	315,687
為替差益	—	882,235
助成金収入	4,895	38,167
その他	8,176	26,317
営業外収益合計	352,545	1,265,682
営業外費用		
支払利息	8,132	9,955
固定資産除売却損	25,062	2,979
為替差損	16,526	—
その他	19,427	26,929
営業外費用合計	69,149	39,864
経常利益	621,506	834,629
税金等調整前四半期純利益	621,506	834,629
法人税等	265,373	502,952
四半期純利益	356,133	331,676
非支配株主に帰属する四半期純利益	65,388	65,688
親会社株主に帰属する四半期純利益	290,744	265,988

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	356,133	331,676
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,311,194	△880,051
為替換算調整勘定	93,093	746,874
退職給付に係る調整額	16,743	7,314
その他の包括利益合計	1,421,031	△125,862
四半期包括利益	1,777,165	205,814
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,678,887	3,377
非支配株主に係る四半期包括利益	98,277	202,436

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社における税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示につきましては、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	北米	中国	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	14,390,796	1,753,141	1,968,170	2,188,231	20,300,339
セグメント間の内部売上高 又は振替高	951,048	33,397	472,646	893,278	2,350,371
計	15,341,844	1,786,538	2,440,816	3,081,510	22,650,710
セグメント利益又は損失(△)	722,013	△209,200	278,248	△86,349	704,711

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	704,711
未実現利益の消去等	△2,274
全社費用(注)	△364,326
四半期連結損益計算書の営業利益	338,110

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門に関わる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	北米	中国	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	13,336,449	1,918,241	2,143,696	2,919,811	20,318,198
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,375,960	11,902	554,252	703,817	2,645,932
計	14,712,409	1,930,143	2,697,948	3,623,629	22,964,131
セグメント利益又は損失(△)	△13,132	△225,927	156,649	95,313	12,902

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

損失(△)	金額
報告セグメント計	12,902
未実現利益の消去等	△4,771
全社費用(注)	△399,319
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△391,188

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門に関わる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

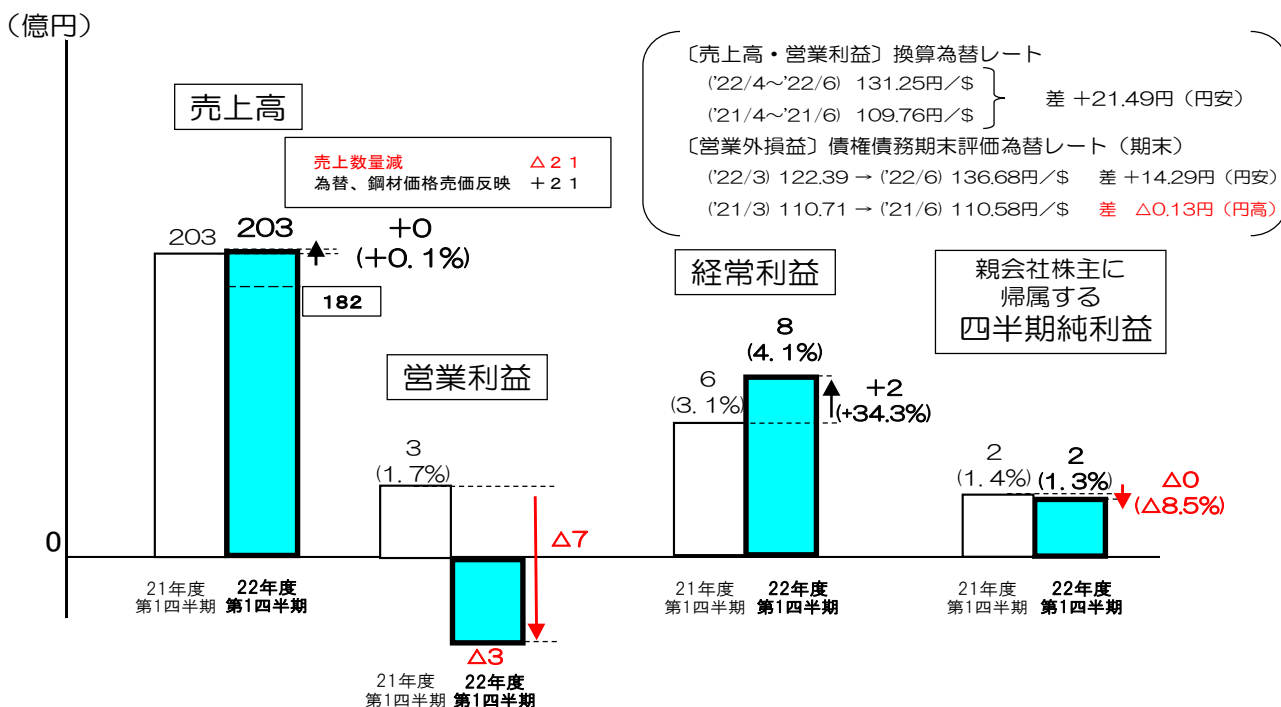
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

1. 売上高・・・前期比微増。一方、主要顧客の生産調整等による自動車生産台数減少のため実質的には減収。
2. 営業利益・・・売上数量減、鋼材・物流費等の高騰に対し、合理化改善・売価反映努力及ばず前期比減益。
3. 経常利益・・・22/3月末対比大幅な円安に伴う営業外収益が営業損失を上回り、前期比経常増益で着地。

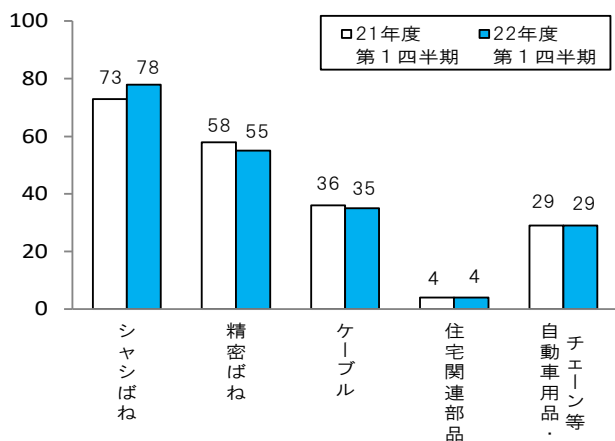
1. 連結決算の状況

(金額単位：億円、単位未満切捨て)



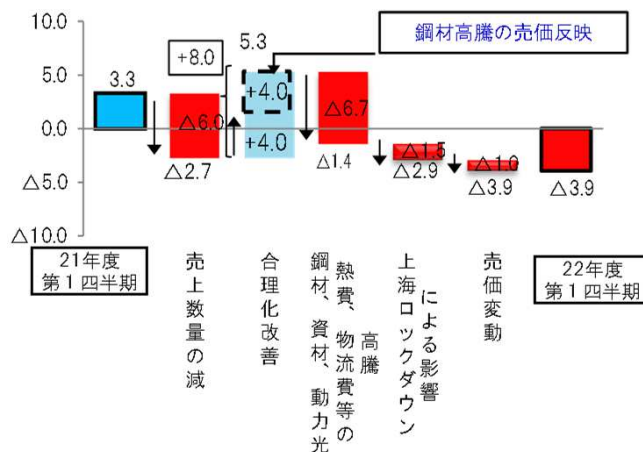
2. 製品別売上高明細

(単位：億円)



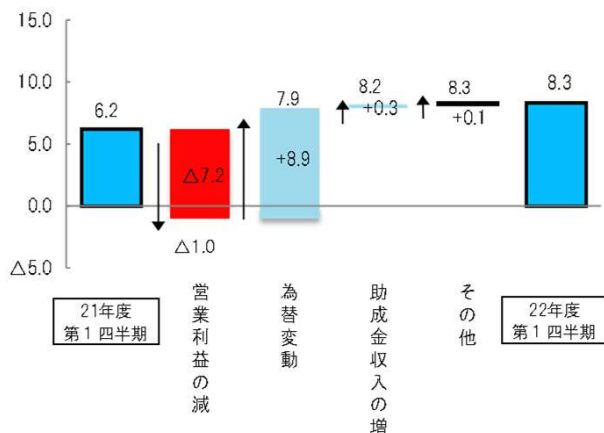
3. 利益の増減要因 (対前年同四半期比)

(1) 営業利益又は営業損失 (Δ) (単位：億円)



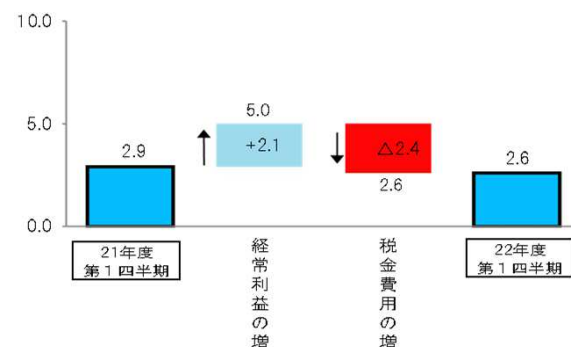
(2) 経常利益

(単位：億円)



(3) 親会社株主に帰属する四半期純利益

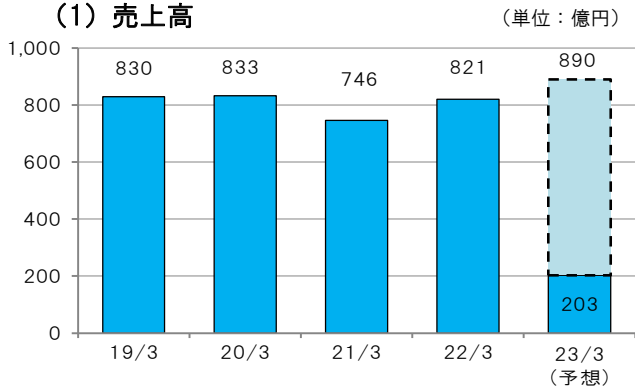
(単位：億円)



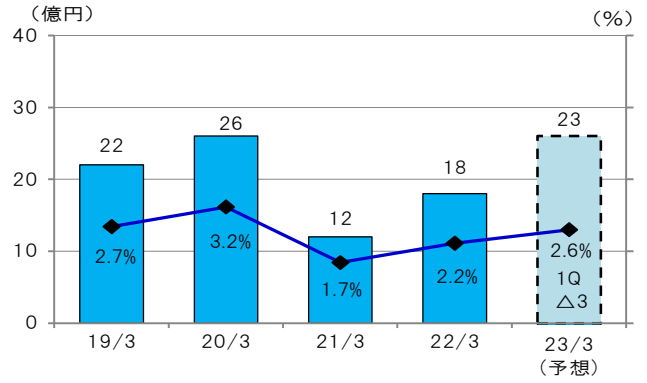
(金額単位：億円、単位未満切捨て)

4. 業績推移

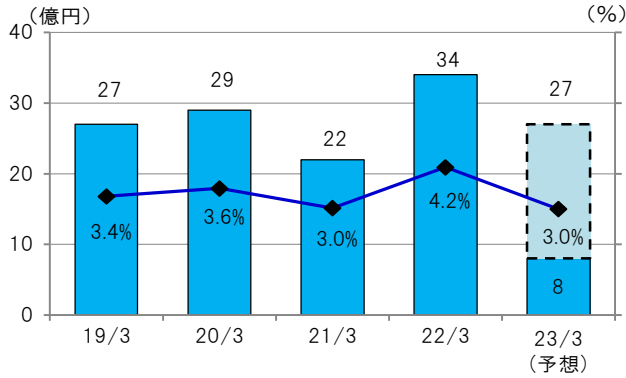
(1) 売上高



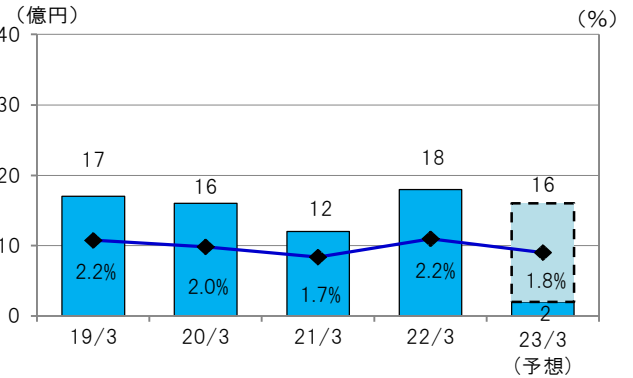
(2) 営業利益



(3) 経常利益

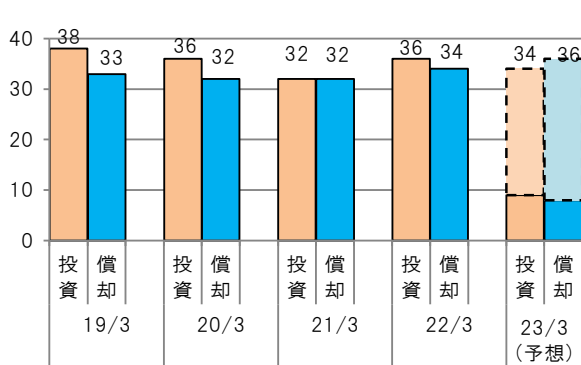


(4) 親会社株主に帰属する四半期純利益

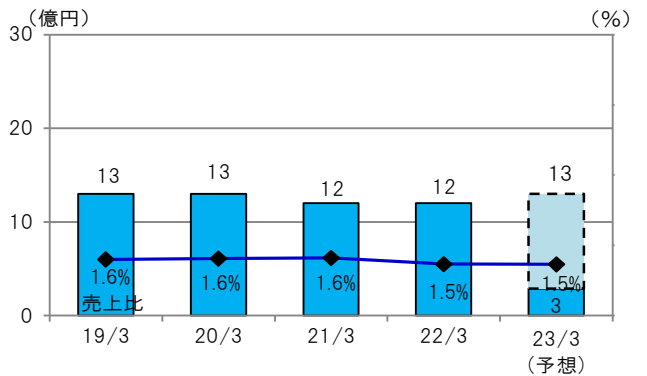


5. 設備投資・減価償却費

(単位：億円)



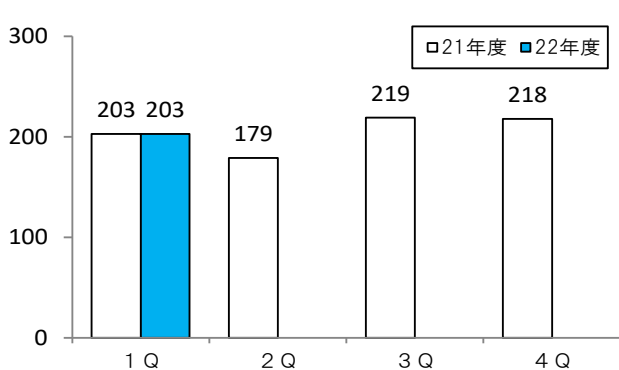
6. 研究開発費



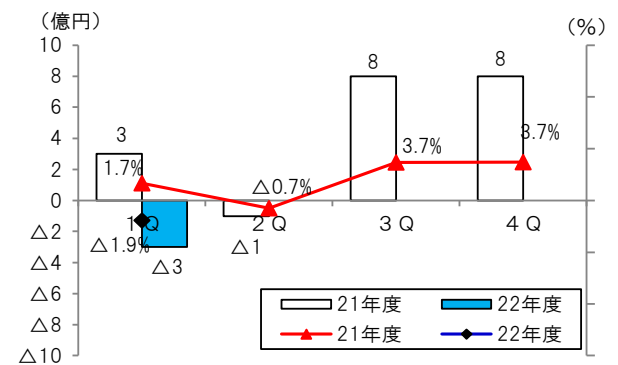
7. 四半期別業績比較

(1) 四半期別売上高

(単位：億円)



(2) 四半期別営業利益又は営業損失 (△)



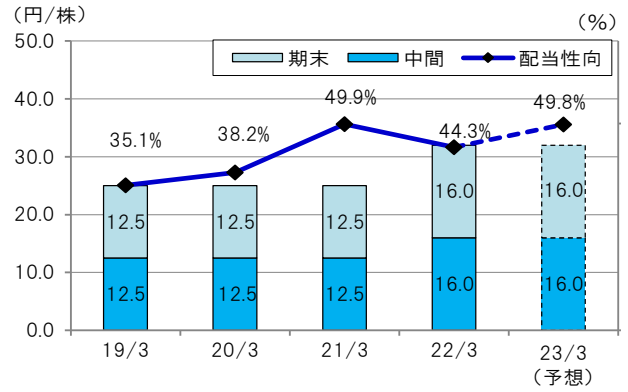
(金額単位：億円、単位未満切捨て)

8. 貸借対照表

(単位：億円)

資産の部			負債・純資産の部				
科目	前期末	当期末	増減	科目	前期末	当期末	増減
流動資産	395	421	+25	流動負債	183	182	△0
現金及び預金	78	106	+28	買入債務	114	104	△9
売上債権	163	154	△9	借入金	20	16	△3
たな卸資産	134	144	+10	その他	48	61	+13
その他	18	16	△2	固定負債	147	174	+26
固定資産	649	647	△2	借入金	46	75	+30
有形固定資産	301	309	+8	その他	101	98	△3
無形固定資産	2	1	△0	(負債計)	331	356	+25
投資その他資産	346	336	△10	株主資本	487	485	△1
				その他包括利益累計額	183	181	△2
				非支配株主持分	43	44	+2
				(純資産計)	714	711	△2
計	1,045	1,068	+22	計	1,045	1,068	+22

9. 配当金・配当性向



(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2021年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。19/3期の期首に当該株式分割を実施したと仮定して、1株当たり配当金を算定しております。

10. 2023年3月期 売上高・各利益の業績予想

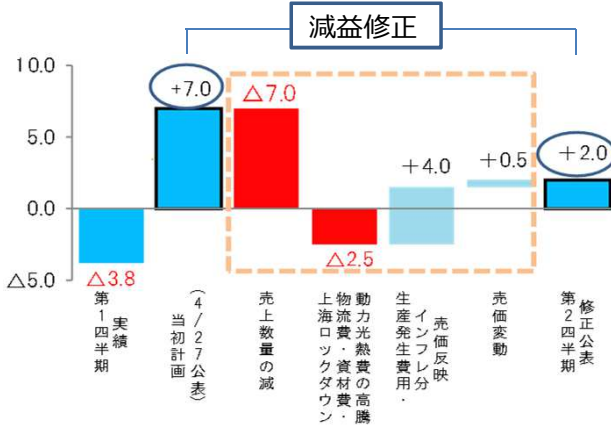
(1) 通期の売上高・各利益：現時点においては修正せず。

但し、今後主要なお客様の通期の生産台数予測が大きく変動する場合には、通期予想を見直す可能性あり。

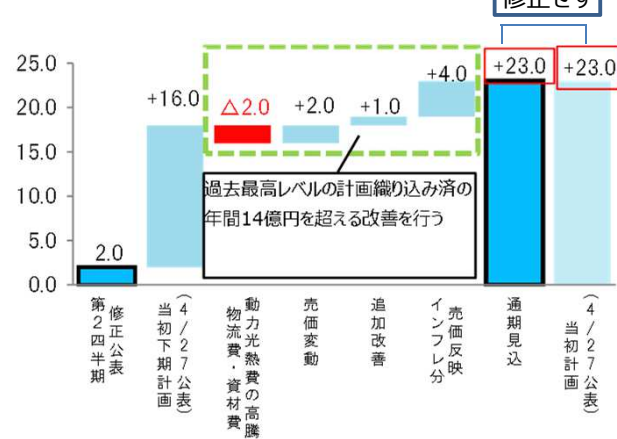
(2) 第2四半期累計業績：営業利益は減益、経常利益は増益の業績予想修正を行う。

営業利益(単位：億円)

【第2四半期累計】 営業利益は減益修正

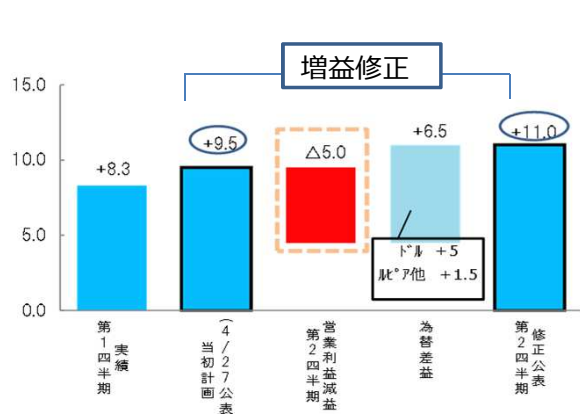


【通期】 営業利益予想は修正せず

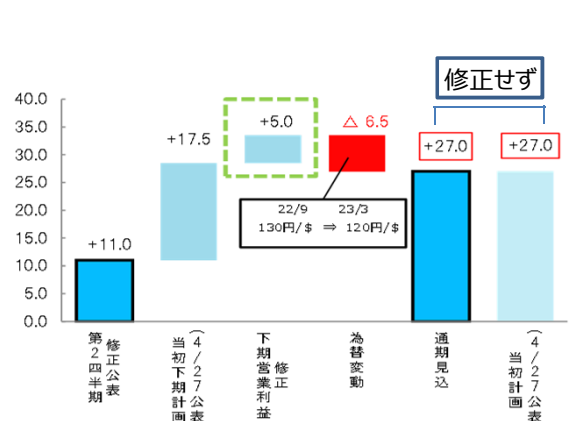


経常利益(単位：億円)

【第2四半期累計】 経常利益は増益修正



【通期】 経常利益予想は修正せず



為替レート 136.68円/\$ 120円/\$ 120円/\$ 130円/\$ ⇒ 130円/\$

130円/\$ 120円/\$ 120円/\$